



MISATO Town Assembly

議会だより

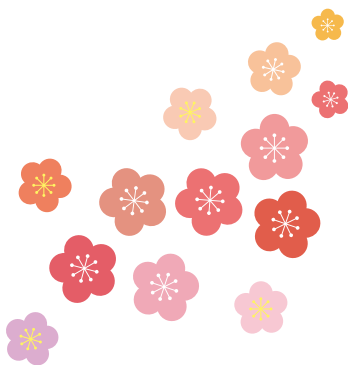
2015 ① No.33

発行／宮崎県美郷町議会
編集／議会広報特別委員会

〒883-1101 東臼杵郡美郷町西郷田代1
TEL(0982)66-3607 FAX(0982)66-3137



(美郷トンネル開通式：平成26年12月1日開催)



目次

- 年頭のご挨拶……………2P
- 12月定例会・第3回臨時会・議案質疑……………2～4P
- 一般質問 9名登壇……………5～8P
- 委員会活動・議会活動・編集後記……………9～10P

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。町民の皆様には、日頃から町政に対するご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今年度は美郷町が合併して十年を迎えることができました。昨年は町民の念願でありました美郷トンネルが開通しました。この事業におきましては、地権者の皆様をはじめ、関わっていただきましたすべての皆様に心より感謝申し上げますとともに、町民の利便性と一体感が向上することに期待をしております。一方、少子高齢化は歯止めが効かない状況であり、今年度は幼小中施設一体型一貫教育二校目の美郷北学園が開校します。新たな歴史のスタートを温かく見守っていかなくてはなりません。また、国政選挙後、地方創生の実現に向けての政策を期待するところでもあります。こうした中、昨年の林業で地域創生をとの復活国民会議も開かれましたよう、今後の動向を注視したいと思います。

美郷町は厳しい財政状況の中、克服すべき多くの課題を抱えております。私ども議決機関として皆様のご意見を拝聴しながら、より良い豊かな住みよい町づくりを目指して、今後さらに創意工夫を重ね、皆様のご期待に応えるべき決意を新たにしております。どうか皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



美郷町議会議長 甲斐 栄

提出された議案と審査結果

(第3回臨時会 11月17日)

議案番号	議案名	審査結果
議案第70号	動産の取得について	可決(全員一致)
議案第71号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第72号	美郷町健康保険税条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)
議案第73号	平成26年度美郷町一般会計補正予算(第7号)	可決(全員一致)
議案第74号	平成26年度美郷町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全員一致)
議案第75号	平成26年度美郷町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全員一致)
議案第76号	平成26年度美郷町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全員一致)
議案第77号	平成26年度美郷町国民健康保険病院事業会計補正予算(第3号)	可決(全員一致)

(第4回定例会 12月9日~11日)

議案番号	議案名	審査結果
同意第6号	美郷町固定資産評価審査委員会委員の選任について	可決(全員一致)
同意第7号	美郷町固定資産評価審査委員会委員の選任について	可決(全員一致)
同意第8号	美郷町固定資産評価審査委員会委員の選任について	可決(全員一致)
承認第5号	平成26年度美郷町一般会計補正予算(第8号)の専決処分(専決第7号)の承認を求めることについて	可決(全員一致)
議案第78号	工事請負契約の変更について	可決(全員一致)
議案第79号	美郷町議会の議員の報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第80号	町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第81号	教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第82号	美郷町農林業担い手支援交付金条例を廃止する条例について	可決(賛成多数)
議案第83号	美郷町立学校設置条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第84号	美郷町立幼稚園条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第85号	美郷町立学校給食共同調理場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第86号	美郷町公の施設条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第87号	美郷町使用料徴収条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第88号	美郷町教職員住宅条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第89号	美郷町営賃貸住宅条例の一部を改正する条例について	可決(全員一致)
議案第90号	平成26年度美郷町一般会計補正予算(第9号)	可決(全員一致)
議案第91号	平成26年度美郷町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決(全員一致)
議案第92号	平成26年度美郷町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	可決(全員一致)
議案第93号	平成26年度美郷町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全員一致)
議案第94号	平成26年度美郷町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全員一致)
議案第95号	平成26年度美郷町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	可決(全員一致)
議案第96号	平成26年度美郷町国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第4号)	可決(全員一致)
議案第97号	平成26年度美郷町国民健康保険病院事業会計補正予算(第4号)	可決(全員一致)
同意第9号	教育委員会委員の任命について	可決(全員一致)
発議第7号	公契約法制定など公共工事における建設労働者の適正な労働条件の確保に関する意見書	可決(全員一致)
発議第8号	「山村振興法」の延長及び地域林業・地域振興の確立に向けた施策の拡充を求める意見書	可決(全員一致)

議案の表決結果(上記結果のうち賛成多数の議案です) ●反対

議案名	議員名	那須富重	尾上忠保	黒田仁志	富井裕瑞	森田久寛	甲斐勲一	新玉卓教	園田義彦	小路文喜	小田照男	甲斐秀徳
議案第82号 美郷町農林業担い手支援交付金条例を廃止する条例について		●		●								

《人事案件》

◆固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

今年2月に任期満了となる 中塩屋敏幸氏(南郷)、甲斐幸範氏(西郷)、宇和田雅祥氏(北郷)の再任に同意しました。

◆教育委員会委員の任命に同意

今年2月に任期満了となる黒木恵子氏の退任に伴い、その後任として、澄本昭子氏(西郷)の任命に同意しました。

《一般会計歳出の主なもの》

○災害復旧費	62,093千円
農地・農業用施設災害復旧工事費(台風19号災害)	13,100千円
林業施設災害復旧工事費(台風19号災害)	22,673千円
公共土木施設災害工事費(台風19号災害)	26,000千円
その他	320千円

○商工業振興サポート補助金

1,196千円
商工業者等が規模拡大及び売上の増加を図るために、施設・設備等を整備する事業に対し、費用の一部を補助することで、町内商工業を活性化し、経営の安定を図ることを目的とするもの。申請状況は13件(平成26年10月末現在)。

第3回臨時会 11月17日開催

工事請負契約の変更についての専決処分の報告を含む、一般会計補正予算等9件の議案が提出され、いずれも原案のとおり可決しました。

12月定例議会

平成26年12月定例議会は、12月9日(11日)までの3日間開催され、平成26年度一般会計及び特別会計補正予算など25件の議案等が提出され、いづれの議案も原案のとおり可決しました。

町政を問う

一般質問

平成26年第4回定例会の一般質問は、12月9日、10日の2日間にわたり、9名の議員が行いました。

本定例会での主な質問と答弁の内容は、次のとおりです。

【問】 神門簡易水道について
① 神門簡易水道水源池周辺の木材伐採後、町有林に購入できないか。
【答】 水源池として町有林買収は考えていない。保安林として指定されているので、伐採後は適地適林として、山を地域全体で守ってほしい。

【問】 危険箇所調査は、県及び町内関係機関により実施している。また、県単事業は積極的に取り組んでいく。該当箇所があれば対応しているか。
【答】 危険箇所の調査は、県及び町内関係機関により実施している。また、県単事業は積極的に取り組んでいく。該当箇所があれば対応している。

【問】 南向土木事務所が現地調査した。町としては、県単事業で対応すべきとの判断で、地元と協議の上、県に要望したい。
【答】 南向土木事務所が現地調査した。町としては、県単事業で対応すべきとの判断で、地元と協議の上、県に要望したい。



新玉 卓教 議員

急傾斜地崩壊対策事業について

【問】 農林業が低迷する中で、木炭は売れ行きが伸び、品薄等もあつて販売価格が上昇する等今後とも有望な品目であり、振興を図らなければなら



小田 照男 議員

木炭の原木確保対策について

【問】 警察、建設課、他関係機関でつくる協議会で調査し、対策を講じている。指摘通学路の改善は担当部署へ申し込みをしていくか。
【答】 警察、建設課、他関係機関でつくる協議会で調査し、対策を講じている。指摘通学路の改善は担当部署へ申し込みをしていく。

【問】 学校トイレ及び通学路について
① 田代小学校トイレを温水洗浄便座に、また美郷南学園の洋便器に温水洗浄便座を取付できないか。
【答】 (教育長) 学校側の要望事項を見て検討していきたい。

【問】 学校通学路はどのように管理しているか。
【答】 (教育長) 警察、建設課、他関係機関でつくる協議会で調査し、対策を講じている。指摘通学路の改善は担当部署へ申し込みをしていく。

【問】 学校トイレ及び通学路について
② 神門簡易水道の水源池を又江の原川に建設できないか。
【答】 水質・水量・財政等を勘案して現地を調査したい。当面、水源池の変更は考えていない。

【問】 学校トイレ及び通学路について
① 田代小学校トイレを温水洗浄便座に、また美郷南学園の洋便器に温水洗浄便座を取付できないか。
【答】 (教育長) 学校側の要望事項を見て検討していきたい。

【問】 基幹産業である農業に対しては、それぞれきめ細かな助成等をして生産振興を図っているが、近年、新たに木の生産に取り組む農家が増え、現在四十名程で「榊研究会」を設立して、約十五ヘクタール植栽し、更に拡大して一大産地化を目指して取り組んでいる。将来性のある作目であり、思い切った助成をして生産振興を図ることが本町の産業振興になると思うが、考えは。

【答】 作業班設立も一つの考え方であり、内部で協議、検討するので時間をいただきたい。

【問】 原木確保は木炭生産の基本を成し、早急な対策が必要。生産者からは木炭原木を専門に伐出する作業班の設立が望まれている。しかし、リスクを伴う作業で効率も悪く、当初から収益は見込めないことから、町が作業班の育成に助成してほしいということであるが、どう考えられるか。
【答】 後継者の育成と原木の生産コスト削減のため、機械設備等の整備を推進して、生産者自らが伐出して原木を確保することが必要と考える。

【問】 後継者の育成と原木の生産コスト削減のため、機械設備等の整備を推進して、生産者自らが伐出して原木を確保することが必要と考える。

～ 議案質疑 ～

議案第82号 美郷町農林業担い手支援交付金条例を廃止する条例について

〈町長提案理由〉

本交付金は、離農や転出防止による産業の振興や地域の活性化を図り、即効性のある過疎対策事業として実施してきたが、本事業が農林業の振興や地域社会への貢献等に対する「報償的制度」であるものの、判断基準はその過程ではなく前年の所得だけで行うことから、担い手の確保には至らなかったこと、また、新規就農者対策として国の青年就農給付金事業が実施されたことなどにより、対象者が年々減少するなどその効果が限定的なものになってきていることから、美郷町農林業担い手支援交付金条例（平成24年美郷町条例第11号）附則第2項の規定による見直しにより、提案するものである。

※これまでの交付状況(総額11,062,000円)

年度	交付額	交付者数
平成24年度	4,932,000円	9名
平成25年度	2,764,000円	7名
平成26年度	3,366,000円	5名

【上記議案に対する本会議での主な質疑】

- 成果が見られないので廃止すると理解してよいか。平成27年度から廃止するのか。
- 条例の附則にあるように、まずは総合的な見直しを行い、今後の運用についての協議をすべきではなかったか。
- 就農した場合に収益が上がるまで数年を要するが、その間の所得安定がなければ就農者は現れないのではないか。
- 対象者の所得の上限をもう少し下げて支援を続けていくと経営が安定するものと思うが、その辺りの議論はなされなかったのか。
- 廃止後に経営安定化対策を講じる予定はあるか。
- これまで連続して交付を受けた方はいるか。また交付者の業種は。
- 担い手対策をさらに充実させるために、これに代わる具体的な支援策の考えは。

【答弁要旨】

- 対象者の所得が毎年増減しており、経営の安定化という制度の目的には達していない。平成27年度から廃止する。
- 対象者がほぼ確定されており、その対象者もまた減少している。
- 補助金を受けて事業を実施し、その効果に対して交付金を受けることもあり、重複助成となる。
- 今後は国の青年就農給付金制度等を活用しながら、新規就農者の育成を図り、また、所得安定化対策として実施している、認定農業者の方への就農者対策事業の充実を図りたい。
- 交付を受けた方は、3年連続の方が1名、2年が4名、1年だけが1名で、繁殖農家と施設農家である。
- 農林業が基幹産業である本町にとって、担い手の確保と育成対策は重要な課題であり、積極的に取り組む必要があることから、今後就農する場合の対策事業など更に施策の充実を図る考えである。

【答】農産物の生産振興に必要な支援は積極的にを行うこととしており、今後榊研究会から要望があれば前向きに検討する。本格生産まで十五年程かかるということであり、しっかりと見守っていききたい。

ふるさと納税について



尾上 忠保 議員

【問】全国それぞれの自治体でいろいろ「ふるさと納税」が実施されており、北海道夕張市や都市部など新聞、テレビ報道で紹介のとおり、財政面において大いに役立つ実績を収めている。本町においても、特産品として価値のある作物が多くあるが、「ふるさと納税」はそれらを利用して生産者の意欲を高めていくと思われる。町の財政を潤すためには、この事が重要であると思われる。町長の考えをもって担当課と一緒に実行するよう前向きに考えてほしいと思うが、考えは。

【答】本来の趣旨を基本におき、制度の見直しを検討していく。

地方消滅について



黒田 仁志 議員

①今後五十年で多くの地方自治体が消滅するという衝撃的なレポートが発表されたが、率直な感想を伺いたい。

【答】(町長) 責任の重さを感じた。本町もその一つとなっており、本町維持のためにより一層努力していく。

(教育長) 小中一貫教育を基礎として、故郷を愛する教育を続けていく。

②町独自の対策を項目別に伺いたい。

I 子供たちが地元に残りたいと思う教育が重要。美郷科の現状と今後を教えてください。

【答】(教育長) 一年生から九年生まで町内の自然や文化財などを学習し、故郷を愛し、自信を持てる教育をしている。本町児童生徒は成績も伸びているが、愛郷心や地域への貢献欲も全国水準を大きく上回っている。

II 親の教育費も大変だ。大学進学

少子化対策について



森田 久寛 議員

①政府は今年6月にまとめた経済運営の指針で人口維持の目標を掲げ、第三子以降の育児や教育を重点支援する等少子化対策を示した。現在の人口維持に必要とされる出生率の水準は二・〇七と言われているが、国、県とも二・〇以下で低く、早急な対策が望まれる。全国知事会でも少子化問題に対して非常事態宣言を出し議論している。本町の出生率は、一九一と県平均を上回っているものの二・〇人に達していない。今後の対策について伺う。

【答】人口の維持、少子化対策は、雇用の確保を含めた産業振興、生活環境や教育、医療等総合的な対策が必要。本町では出産奨励祝金、乳幼児医療費助成の拡充や高校生就学助成等様々な施策を行っている。

②近くの市町村においては、出産祝金、第三子目に五十万円、第四子目に百万円の祝金や、給食費や中学校卒業までの子どもに対する医療費自

時の奨学金制度の拡充を図るべき。

【答】(教育長) 現時点では考えていないが、時代に合わせた支援を町長部局と協議しながら検討したい。

III 産業別人口分布を見ると二次産業の人口減が非常に大きい。建設業の振興のためにも地域育成枠の拡大や県の入札制度の見直しを要求してほしい。

【答】私も感じているところである。議会と共に要望していきたい。

IV 民間の住宅支援補助金は、すそ野も広く効果は大きいと思う。今後どうするの。

【答】年間限度額は設けたいが、維持していきたい。

V 諸塚の元村長が提唱した「適疎」という考えがある。出ていく人間が山林や農地を地元に移譲することにより経営規模が拡大され収入の向上、安定が図れる。

【答】今年度からスタートした農地バンクの制度などを活用していきたい。

VI 農林産物の販売も課題だ。流通担当の効果は。また、今後の戦略を聞きたい。

【答】県内の業者と協議中の部分もある。各所と連携しながら徐々に県外などに展開していきたい。

VII 高齢者福祉や町内のネット環境を活用した事業など女性の参入しやすい職場もある。女性の職業創設も重要である。

己負担額の無料化等の対策、また世界一出生率の高いフランスでは、子どもを自宅で預かる「保育ママ」制度、子どもが多いほど所得負担が低減。第三子誕生で「大家族カード」の支給。福祉大国スウェーデンでは、十九歳まで無料の学校教育等の各種手当を行っているが、本町でももう一歩踏み込んだ対策の考えはないか。

【答】本町では十一月二十八日「美郷町まち・ひと・しごと創生本部」を立ち上げた。今後、本町の特性を踏まえた対策を検討し、施策を進めていく考えである。

和牛繁殖初出産の祝い金について



甲斐 秀徳 議員

①飼育農家の高齢化により、農家数、頭数も減少している現状。経産牛、初産に限らず出産事故も多々ある。出産事故の軽減と繁殖農家の生産意欲向上と町畜産農家の活性化、担い手が増頭し励みになるように、

【答】まずは住んでもらうことを優先していきたい。様々な可能性も考えていきたい。

町財政に対する交付金について



園田 義彦 議員

【問】本町に対する交付金は、合併後の特例措置として、平成二十七年までの十年間は合併算定にて交付されるが、その後五年間で徐々に減額され、平成三十三年には一本算定となる。交付金額も本年度と比べ、十一億四千万円の減額となり、非常に厳しい財政状況が予想される。総務省が交付金上乘せの検討を始めたようであるが、財務省との絡みもあり、すんなりとはいかないものと考えられるので、本町も県内外の合併自治体と連携して、緩和に向けた要望活動を行うことが急務であると考え。

【答】一本算定になると大変厳しい財政状況になることは間違いないと考える。今後とも行財政改革を進め

自家保留牛、市場導入牛を問わず、初産の牛に対し祝い金は出せないか。

【答】出産祝い金交付については考えていない。

②導入補助金の上乗せではどうか。

【答】今のところ現行制度を変えるつもりはない。

【問】米の色選別機導入の補助について今年のように雨の多く、米買い取り価格の下落。獣害と闘いながらの米づくりも大変である。消費者の立場からは安心、安全、良質、品質保証の出来る米が必要。生産者は病虫害のないよう防除しているが、雨の多い年は難しいものがある。少しでも着色米や異種作物が混入しないように、製品として等級が少しでも上がり収入が増加する。また、美郷米ブランドの向上、今後産地間競争も激化してくる中で、生き残りをかけるために、糶摺り業者が色彩選別機導入するための購入補助はできないか。

【答】機械の導入補助に対しては、町の単独事業農林業担い手事業で対応している。色選別機に特化した補助は考えていない。



るとともに、町議会並びに各自治体と交付税の緩和に向けた要望活動を行っていく。

【問】行政サービスの向上について町民の方々より、役場等に行った折、職員の名前等が分からないという話を聞く。各課また各施設に顔写真と氏名を掲載した案内一覧表なるものを設置するような考えはないか。設置することで町民にも分かりやすく親しみがもてるものと考え。

【答】県の町村課等にも設置しており、親しみを感じている。今後要望等があれば検討したい。

人事交流などについて



小路 文喜 議員

①本年の人事異動で殆どの職員が出身所に配属されたが、合併九年目となったこの町の町民一体化や職員の能力向上等の観点からも職員の人

事交流は必要と考える。

【答】今後も出身地を基本に配置をしていく。

委員会活動

■ 総務常任委員会

- (1) 南郷区長との意見交換
 1. 調査日 平成26年9月22日(月)
- (2) 西郷区長との意見交換
 1. 調査日 平成26年10月22日(水)
 それぞれの地区が抱える問題を含め、産業振興、教育、福祉の面等幅広い分野において意見交換を行った。



南郷区長との意見交換会

《所管事務調査》

■ 文教厚生常任委員会

1. 調査日 平成26年10月23日(木)～24日(金)
2. 調査の場所 高知市
3. 調査の目的 高知市における百歳体操、かみかみ百歳体操への取り組みと成果について高知市の取り組み体制と事業の経緯や概要、成果等の説明を受け、体操実技を見学し、高齢者や担当者との意見交換を行った。



■ 産業建設常任委員会

1. 調査日 平成26年10月16日(木)～17日(金)
2. 調査の場所 福岡県大木町・糸島市
3. 調査の目的 大木町の農家の主婦で運営するきのこ生産及びレストランの状況について糸島市の森林再生プロジェクトについて農家の主婦4名で設立した農事組合法人モア・ハウスのふなしめじ及びアスパラガスの生産について、並びに同法人が運営するレストランについて、また糸島市が新たに取組む「森林再生プロジェクト」について説明を受けた後、それぞれ現地調査を行った。



定例会のご案内

定例会会期日程、一般質問通告一覧を掲載しておりますのでご覧ください。
 *美郷町ホームページ(URL)
<http://www.town.miyazaki-misato.lg.jp/>
 *きららびじょん文字放送(12ch)

傍聴席へどうぞ!! お問い合わせは議会事務局へ
 (電話66-3607)
次の定例会は、3月4日開会予定です。



①県営住宅借入等について
 西郷田代地区中心部に、県営住宅がある。利便性に優れた地域で入居希望者が多いと伺う。県からの借入下げ、購入等の計画はないか。
 【答】 今後も林業技術センター県職員宿舎として利用し、払下げ、貸出、売却の計画はない。



富井 裕瑞 議員

町内定住対策について
 ②六月補正予算の学校空調施設等が未だ完成していない等、予算執行等にも支障を来しているようだが、体制に問題ないのか。
 【答】 予算執行遅れないように体制を整え、予算議決後は速やかに執行していく。
 【問】 南郷温泉の経営改善には、西郷レイクランドの様に送迎用バスを導入するなど町外からの集客に積極的に取り組む必要があるか。
 【答】 経営改善の打開策は利用客を増やすことだと考えるが、バス導入は困難である。

③空き家の活用について
 町内には、多くの空き家が増えてきた。老朽化し廃墟となっている物件も有るが、中には、まだまだ居住可能な住宅が有る。空き家データベース等の公開推進を含め、町内居住希望者に対する負担の少ない生活支援事業は、出来ないか。
 【答】 二五年度の調査で三三九軒の空き家があり、住宅希望者に随時紹介している。また、国の空き家等対策特別設置法に基づき、町も空き家対策条例作成を含め、今後の取り組みを協議中である。
 ②農業振興区域除外について
 耕作放棄地、荒廃地が増加している。地権者の高齢化等により売却希望者も増えている。宅地としての転用手続き等の簡素化は出来ないか。また、農振地域の見直しはいつ頃どの様に行うのか。
 【答】 手続き簡素化は出来ないが、国の地方創生戦略事業をうけて、県と一体となって分権委譲を要望したい。農業振興区域の見直しについては、地域の意見を聞き、二八年度中に行なう。



子ども議会が開催されました

～提言の様子～

平成26年12月16日(火)に今年度で第4回目となる「子ども議会」が、美郷町立中学校3年生54名が参加して開催されました。11班に別れ、町の経済や人口対策等についての一般質問がなされ、町政に対する新たな提言を行いました。

西郷中学校

北郷中学校

美郷南学園

議 会 活 動

10月

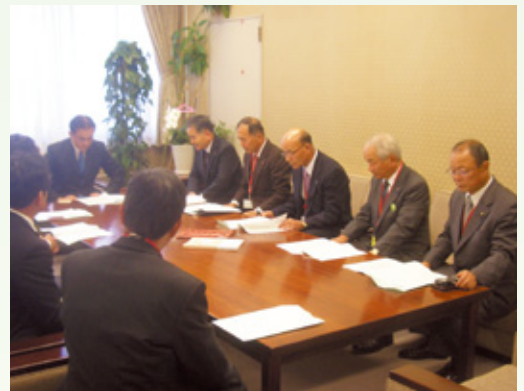
- 4日／第31回東九州自動車道建設促進大会
- 4日／椎葉村村制施行125周年記念式典
- 5日／国道327号整備促進期成同盟会総会・日向圏域交流大会
- 7日／宮崎県町村議会議長会臨時総会・議員大会
- 10日／東臼杵郡障がい者スポーツ・レクリエーション大会
- 16日／産業建設常任委員会所管事務調査（～17日）
- 20日／国道388号整備促進要望活動（～21日）
- 22日／例月現金出納検査
- 23日／文教厚生常任委員会所管事務調査（～24日）
- 27日／森林・林業活性化議員連盟連絡会議総会・研修会
- 29日／東臼杵郡町村議会幹部議員研修会
東九州自動車道・九州中央自動車道建設促進総決起大会
- 30日／宮崎県町村監査委員協議会ブロック別研修会



国土交通省九州地方整備局要望活動

11月

- 4日／宮崎県北部広域行政事務組合議会
- 7日／県道東郷西都線整備促進期成同盟会要望活動
- 11日／日向東臼杵広域連合議会
議会運営委員会・全員協議会
- 12日／第58回町村議会議長全国大会
- 13日／東臼杵郡町村議会議長会政務調査（～14日）
- 17日／第3回臨時会
- 18日／中央省庁要望活動（～19日）／豊見城市行政調査
- 20日／宮崎県町村議会議長会幹部議員研修会
- 21日／例月現金出納検査
- 25日／日向市・東臼杵郡町村議会議長連絡会研修会・交流会
- 26日／宮崎県町村議会広報研修会
- 27日／定期監査（～28日）
- 29日／東臼杵郡PTA研究大会



農林水産省への要望活動

12月

- 1日／美郷トンネル開通式
- 2日／東臼杵郡町村議会議長会／入郷地区衛生組合議会
- 3日／議会運営委員会・全員協議会
- 5日／イルミネーション点灯式（南郷）
- 9日／第4回定例会（～11日）
- 16日／子ども議会
- 18日／林業振興に係る議会政務調査
- 22日／議会広報特別委員会／例月現金出納検査



中国木材(株) 視察

編集後記

明けましておめでとございます。皆様、どのような新しい年をお迎えてでしょうか。昨年末には待望の日平バイパスが開通し、また衆議院議員選挙、県知事選挙が実施され、新たな国政、県政がスタートしました。私たちも新しい年を迎え、決意を新たにし、皆さまとともに町づくりに邁進してまいります。

広報委員会は、議会と町民との情報共有を図るため、審議の内容を周知するよう努め、かつ議員の活動が町民の確かな評価につながるよう説明責任を果たすため、委員が一丸となつて編集作業にあたっております。

議会では、住民の皆さまに身近で大切なたくさんの方の話し合われていますが、これから更にご意見を反映していくためには、一人でも多くの皆さまのご意見を聞くことが必要と考えています。

どうぞ皆さまのご意見をお寄せいただけますようお願い致します。そして議会は皆さまのためのものでありますから、三月の議会には、ぜひ、大勢の方に議会傍聴においていただきまして議会に関心をお寄せいただき、より建設的な町づくりにご協力いただきますよう、どうぞ今年もよろしくお願い申し上げます。

（編集委員）

- | | |
|-------|-------|
| 委員 長 | 黒田 仁志 |
| 副委員 長 | 森田 久寛 |
| 委員 | 那須 富重 |
| 委員 | 甲斐 秀徳 |
| 委員 | 甲斐 栄 |

〓 ご意見をお寄せください 〓